

事務事業名	ふるさとメール配信事業		所属部局	秘書課		単位番号	1009									
			所属課室	秘書課		課長名	飯野多恵子									
	☐ 実施計画事業		所属担当	広聴広報担当		担当者名	村松 直樹									
基本政策	基本計画体系	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策		03 市民参加システムの構築	事業区分	01	一般	0	2	0	1	0	3	0	2	0	0	8
施策		05 市政への直接参加システムの構築		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 H15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠	なし												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳（22年度）												
	市からの情報をはじめ、新聞に掲載された市関連の記事などをネット上に掲載し、購読契約者に毎月2回配信している。季節の話題や市役所からのお知らせなど写真データと文で構成している。海外と全国の登録者に配信しているが、山梨日日新聞のサイトからも閲覧することができるため、毎月のアクセス件数は、3,000件を超える。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
				委託料 252												
				計 252												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績	市内の状況やイベントを掲載した内容を登録者に配信。 (毎月1日と15日に配信)
	23年度活動予定	同上
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		
市内および県内外の人で、南アルプス市に関心がある人		
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)		
県外に住んでいる市内関係者の方たちに、ふるさとの様子や状況を知らせ、遠く離れていてもふるさとを懐かしくまた、身近に感じることができるように登録配信している。		
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		
山日新聞に掲載された本市のイベントやニュース、出来事などを配信することで、登録者以外の県内外の人たちにも南アルプス市をPRする。		

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: メール配信回数	回
イ:	
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 年間のふるさとメール登録者数(延べ人数)	人
イ:	
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 県外への登録者数	人
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 年間のふるさとメールへのアクセス件数	件
イ:	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	252	252	252	252	252	252	
		事業費計 (A)	千円	252	252	252	252	252	252	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	108	48	48	48	48	48		
		人件費計 (B)	千円	482	214	190	190	190	190		
		(A) + (B)	千円	734	466	442	442	442	442	0	
活動指標			アイウ	回	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0		
対象指標			アイウ	人	277.0	299.0	310.0	320.0	330.0	340.0	
成果指標			アイウ	人	152.0	150.0	155.0	160.0	165.0	170.0	
上位成果指標			アイ	件	47,449.0	47,087.0	47,500.0	48,000.0	48,500.0	49,000.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併前に旧芦安村で山岳情報を主に行っていた。合併後は新市のHP(web上)で、県外等に住む市内出身者向けにリニューアルして山岳関係者以外にも配信。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	登録者は、5年間に比べ、わずかだが増加傾向にある。登録者以外の閲覧者も多くいる。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☒ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	今までは、登録者(閲覧者)の声や満足度、要望等のアンケート調査をしなかった。H23年度は、事業の有効性、継続性を含め、調査を行いたい。
H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	ふるさとメール配信事業	所属部	秘書課	所属課	秘書課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 結びついている 【理由↓】
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由↓】 市のイベント情報等を広く市内出身者にPRし、来てもらうことを目的としているため妥当である。 なお、業者に委託もできるが、かえってコストが上がる。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である 【理由↓】 事業の趣旨からは、対象者も意図するところも適切であり、見直しの余地はない。また、web上での公開、発信ということで、もともと不特定多数の人に閲覧してもらうのも目的なので、これ以上拡充できない。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 ここ数年の登録者数は、270～300件でほぼ横ばいで推移している。一方、HPの該当ページへのアクセス件数は月に4,000件をコンスタントに超し、増加傾向にあるので今後も向上の余地が見込める。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 芦安山岳館メールがあるが、対象者や目的が山に特化しているため。 ☐ 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由↓】 登録者が自発的に市のHPの観光情報やイベント情報を見れば、特に問題ない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 成果(登録者数)によって、契約額が変わるものでない。必要最低限の業務しか委託していないので、削減するには、事業の廃止しかない。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 この業務に携わる職員の時間は年48時間で、これ以上少なくするのは厳しい。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 基本的には、HPを見れる環境があれば、誰でも個人の意思で閲覧できるので公平・公正と判断できる。 なお、HPを見れない人からの「不平」といった意見は寄せられていない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	事業の今後を検討するわけであるが、市HPが充実されてくれば廃止、休止も考えられる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☒	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					